

まちのくすりやさん 第48号

今回のおはなし

「災害への備えと知識」

「浦安市における学校プール水
放射性物質の測定結果」



災害への備えと知識

突然の災害で被るけがや病気にどう備えるか、まとめてみました。

1. 家庭の救急箱

持病薬など普段から服用している薬、総合感冒薬（風邪薬）、総合胃腸薬、解熱鎮痛剤、やけど・切り傷用軟膏、整腸剤、体温計、目薬、三角巾、絆創膏、うがい薬、消毒薬、ガーゼ、脱脂綿、マスク、湿布・・・など

※非常用持ち出し袋に入れておきましょう。

※定期的に点検し、未開封でも使用期限切れした薬は、処分しましょう。

※ペットボトルの水も一緒に用意しておきましょう。

2. 日頃から携行する方がいいもの

・健康保険証

・おくすり手帳

※かかりつけ医のところに行けず、別の医療機関で受診する場合は、治療薬や服薬状況を伝える必要がありますので、薬の使用履歴がわかる「おくすり手帳」などをしていると安心です。

※この度に東日本大震災では、非常に役に立ったそうです。

※お持ちでない方は、かかりつけ薬剤師にご相談下さい。

・持病の薬

※外出する時は、少し多めに持ち歩く方がいいです。

3. まとめておきたい情報

氏名、生年月日、血液型、住所、家族の連絡先、飲んでいる薬の種類、かかりつけ医、かかりつけ薬局、ケアマネージャーなど関係機関、医療・介護で特に注意すべき点、人工呼吸器などの利用者は提供会社・保険証のコピー、顔写真（本人確認に役立つ）、

4. 医療に関する Q&A（糖尿病関連）

①Q:糖尿病の薬がなくなりそう。どうしたらいい？

A:糖尿病の95%を占める**2型**の場合、インスリン注射が数日できなくても、すぐに命にかかわるような問題にはならないので心配し過ぎないようにして下さい。
日本糖尿病協会 専門電話 0120-15-721で相談に応じています。

②Q:糖尿病で治療中の方が、被災地での生活で特に気をつけた方がいい点は？

A:後片付けなどの作業は控えた方がいいです。合併症で足の感覚が鈍くなっておりケガをしても気づきにくいです。白血球の働きが悪く感染を防ぐ力が弱まっているので、傷口から広がりやすいので注意が必要です。

浦安市ホームページより

学校のプール水の放射性物質の測定結果

2011年6月13日

6月9日に学校プールの放射性物質に関する検査を実施したところ、放射性物質は検出されませんでした。

測定結果

検体採取日 6月9日(木)

検体採取場所 舞浜二丁目1番1号 舞浜小学校屋外水泳プール

測定方法 ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメタリーによる核種分析法

測定結果 検出せず ※「検出せず」とは、検出限界値（1キログラムあたり10ベクレル）を超えないことを意味します

検査機関 財団法人千葉県薬剤師会検査センター

測定した放射性物質は、ヨウ素131、セシウム134、セシウム137の3種類です。

本市の学校プールは、県営水道の飲料水を使用しており、水質になんら問題はありませんが、市民の皆さんに安心していただくため、プール水の放射性物質の測定を検査機関に委託し実施しました。

その結果、放射性物質は検出されませんでしたので、現在のところ、学校プールが安全に使用できるものと判断しています。

また、通常のプール水質検査については、例年通り実施する予定です。



薬に関して、ご心配なことがございましたら、薬剤師にご相談下さい。

(社) 浦安市薬剤師会 〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812 (月～金: 10～15時)

Fax 047-355-6810

メールアドレス toiawase@urayaku.jp

ホームページ <http://www.urayaku.jp/>